



NBCS 2026 — 防火・生命安全:パッシブファイア義務化

SP 7:2026 — NATIONAL BUILDING CONSTRUCTION STANDARDS · PART F · IS 12458:2019 — FIREXビルダー・ブリーフ 06-3

NBC 2016は廃止されました。NBCS 2026が施行中です — 2026年4月30日付で発効。

これまでの「しなければならない」はすべて「することが望ましい」に変わりました — 強制力は、今や各州の条例に委ねられています。

耐火シールについて、NBCSが定める規格はただ一つ:IS 12458:2019。輸入規格のFM・UL・ASTMは 規定されていません。

1 PART Fの適用範囲 — 第1.2項

PART Fの適用基準	用途区分
9 m ・ または 500-750 m²	集会施設・教育施設・倉庫・危険物施設
15 m ・ または 500-1,000 m²	事務所・公共施設・商業施設・複合用途・産業施設G-3
24 m ・ または 750 m²	住宅
高さを問わず ・ 2,000 m²超	産業施設G-1・G-2 — あらゆる工場、あらゆる作業棟

1,000 m²以上の改修、または用途変更の場合も適用されます(第1.3項)— 既存施設の改修も義務化の対象です。

2 義務事項 → STANVACの実証

義務事項	STANVACの実証
すべての貫通部 — 封止・試験済み・耐火性能を復元 [第2.32項、3.5.4.4項・IS 12458:2019・最低120分] ケーブル・配管・ダクトが貫通するすべての箇所は、壁の耐火性能を復元しなければなりません — 耐火試験に加え、放水試験の合格が義務付けられています。放水試験に合格しなければ、耐火性能は認められません。	・ FIREX FM-71 mortar — CBRI 75 mmで2時間耐火・耐力壁の開口部 ・ FIREX FB 250 — ミネラルウールバリア・再開放可能・改修・不定形開口部向け ・ FM-71 + FB 250 Hybrid — インド初のハイブリッド耐火シール・壁・床兼用の汎用タイプ ・ FIREX putty stick — 小規模な隙間・盤・工場フロアの引込口・2時間耐火 ・ すべての開口部:壁で2時間耐火 + EC 43 貫通ケーブルへの延焼防止措置 — 4時間耐火試験済み
階段・避難口の防火区画壁 — 120分、すべての貫通部が認証済み [表1・避難口:全構造区分で120分] 階段は生命線です — これを貫通する設備配管はすべて、個別にIS 12458の試験報告書を備える必要があります。	・ FIREX FM-71 + FB 250 — 2時間耐火で封止、証明書添付 ・ STANVAC CS 70 / DC 52 — 区画壁の表面を不燃化
電気シャフト — 各階で封止 [第3.5.5.1項・IS 12458:2019・IS 1646] 専用シャフト内のケーブルは、各階の耐火性能に応じて階ごとに封止されます。	・ FIREX EC 43 General — 延焼ゼロ・240分 ・ FIREX EC 7034 — 盤内配線・細径ケーブル・半透明仕上げ
生命維持回路 — 火災下でも稼働を継続すべき系統 [第3.5.5.2項・耐火区画または耐火ケーブル・IS 16246] ポンプ、昇降機、警報設備、放送設備は、建物の避難中も稼働し続けなければなりません。	・ FIREX EC 43 Survival — IEC 60331-21・750°Cで240分・CBRI・耐火ケーブルが未敷設の箇所への改修対応
隠蔽部・仕上げ材 — 燃料とならない、試験による等級付け [第3.5.10項・IS 12777による延焼等級] 天井および空隙部は火災の燃料となってはならず — 入札書類にその等級を明示する必要があります。	・ STANVAC CS 70 — 透明発泡型コーティング・木部を保護 ・ FIREX DC 52 — 着色防火バリアコーティング
表示義務 — 認証構造体はすべて証明を表示 [第2.29項注3・恒久表示・製造者名記載] 耐火等級、製品名、製造者名を恒久的な表示に記載。出所不明のマスチックは、一目で不適合と判断されます。	・ CBRI認証を取得した単一の製造者 — 調査は一括・仕様は一本化・表示付き証拠ファイルは一つ

NBC 2016は耐火シールの設置を求めていましたが、試験規格を明示していませんでした。NBCS 2026はこれを明示しています:IS 12458:2019 — インド国内規格です。輸入規格のFM、UL、ASTMは指定されていません。 証明書の空白は解消されました。それ以外の証明書を用いる場合は、消防当局による別途承認が必要です。

SP 7:2026 Part F(BIS発行)に基づき確認済み:第1.2項/1.3項、規格一覧 (34) IS 12458:2019。Part Fは各州の条例を通じて拘束力を持ち、NBC 2016に基づく条例は改正されるまで有効です。入札での使用前に、貴州の適用版をご確認ください。

3 会うべき相手

- ・ **建築士** — 図面がリスクを負っています。試験済みのFIREX製品ラインが、その防御策です
- ・ **MEPコンサルタント** — 数量明細書(BOQ)の項目は、IS 12458の試験報告書が添付されて初めて成立します
- ・ **防火コンサルタント/消防同意窓口** — CBRI試験報告書は一目で理解でき、そのまま受理されます
- ・ **プロジェクト責任者** — 9 m以上の建物、および2,000 m²超のあらゆる工場において:裁量の余地はなく — 規定規格で2時間耐火の認証を取得しながら、輸入品より低コストです

未封止の開口部は、耐火壁を煙突に変えてしまいます。

Part Fは高さ9メートルから適用されます。火災はどこからでも発生します。Stanvacは開口部を封止し、その証明を提出します。

内容はBIS発行のSP 7:2026 Part Fに準拠しています。入札での使用にあたっては、貴州の条例が採用する版から正確な条文を転記してください。